

大槌川・小鎚川災害復旧事業の 進捗状況について

平成26年 9月17日(水)

岩手県沿岸広域振興局土木部

水門及び防潮堤の位置・構造について

大槌川・小槌川災害復旧計画

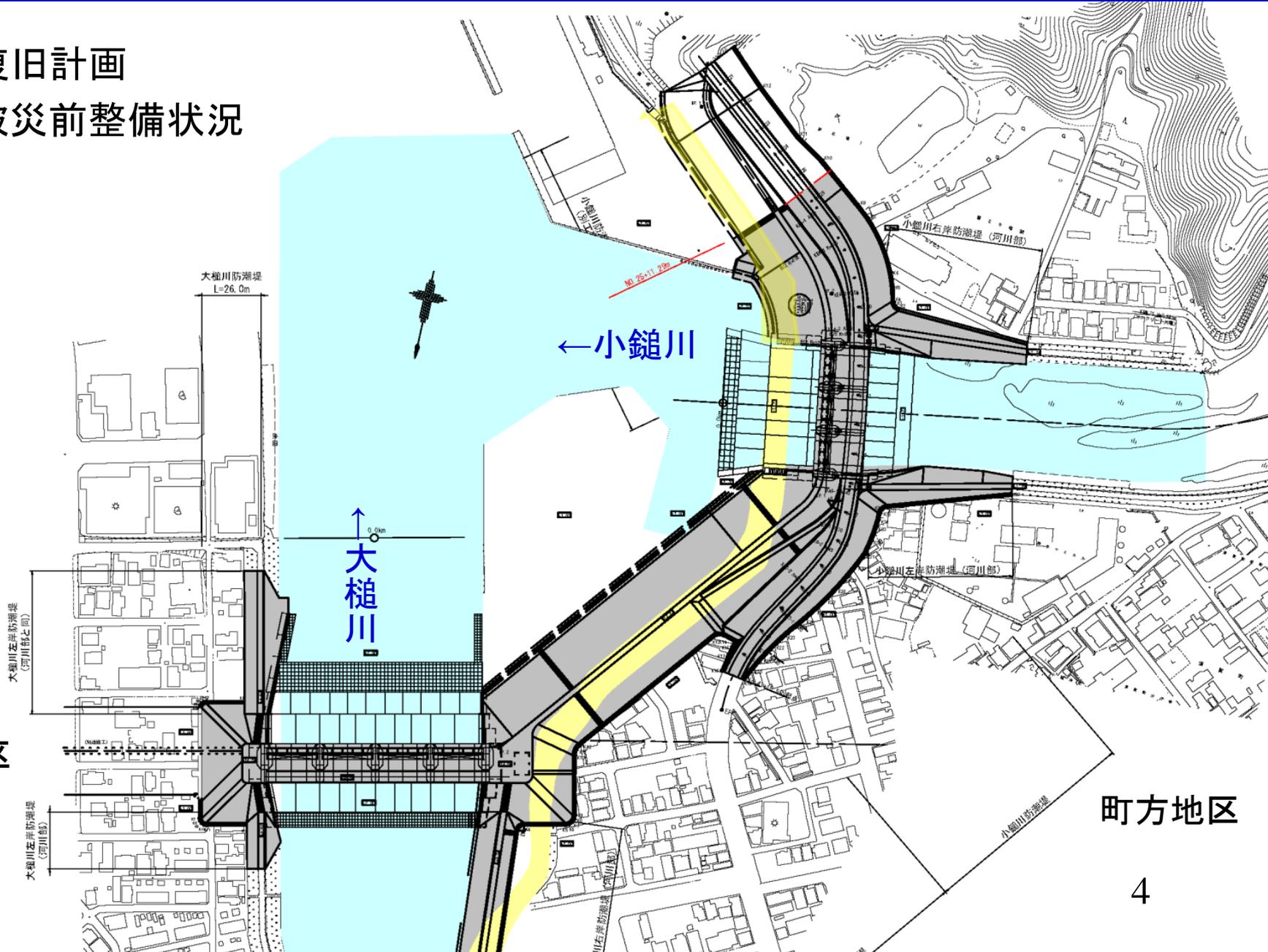
今回は赤の防潮堤、
オレンジの水門について説明

- 防潮堤
- 水門
- 防潮堤



大槌川・小鎚川水門及び防潮堤全体計画図

- 復旧計画
- 被災前整備状況



大槌川・小槌川水門の形状と構造

- 水門本体は、鉄筋コンクリート造とし、水門ゲートは鋼製となります。
- 水門の基礎は、地震時においても倒壊しない杭基礎構造となります。

大槌川水門

正面図

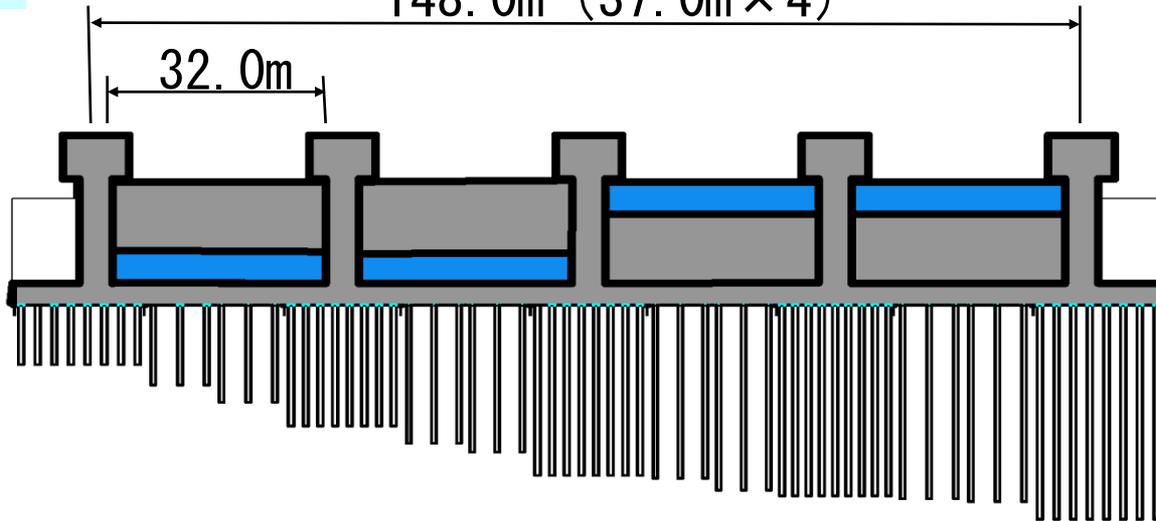
148.0m (37.0m × 4)

32.0m

T. P. +14.50m

T. P. +2.75m

T. P. -2.90m



小槌川水門

正面図

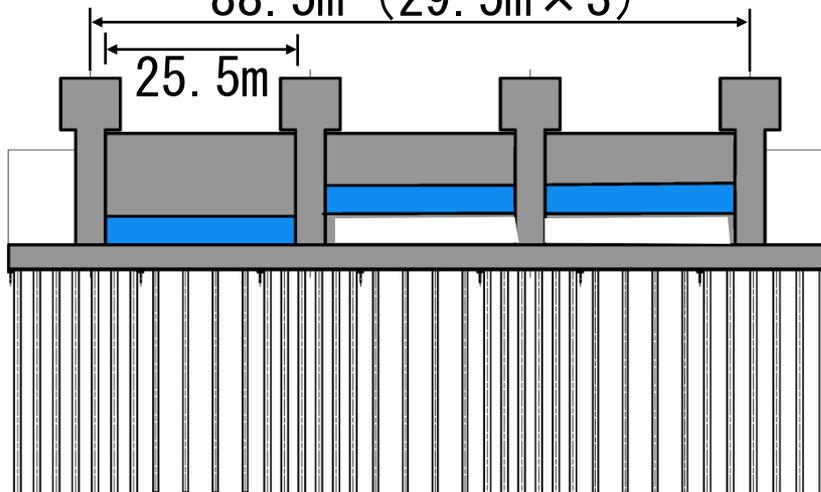
88.5m (29.5m × 3)

25.5m

T. P. +14.50m

T. P. +2.11m

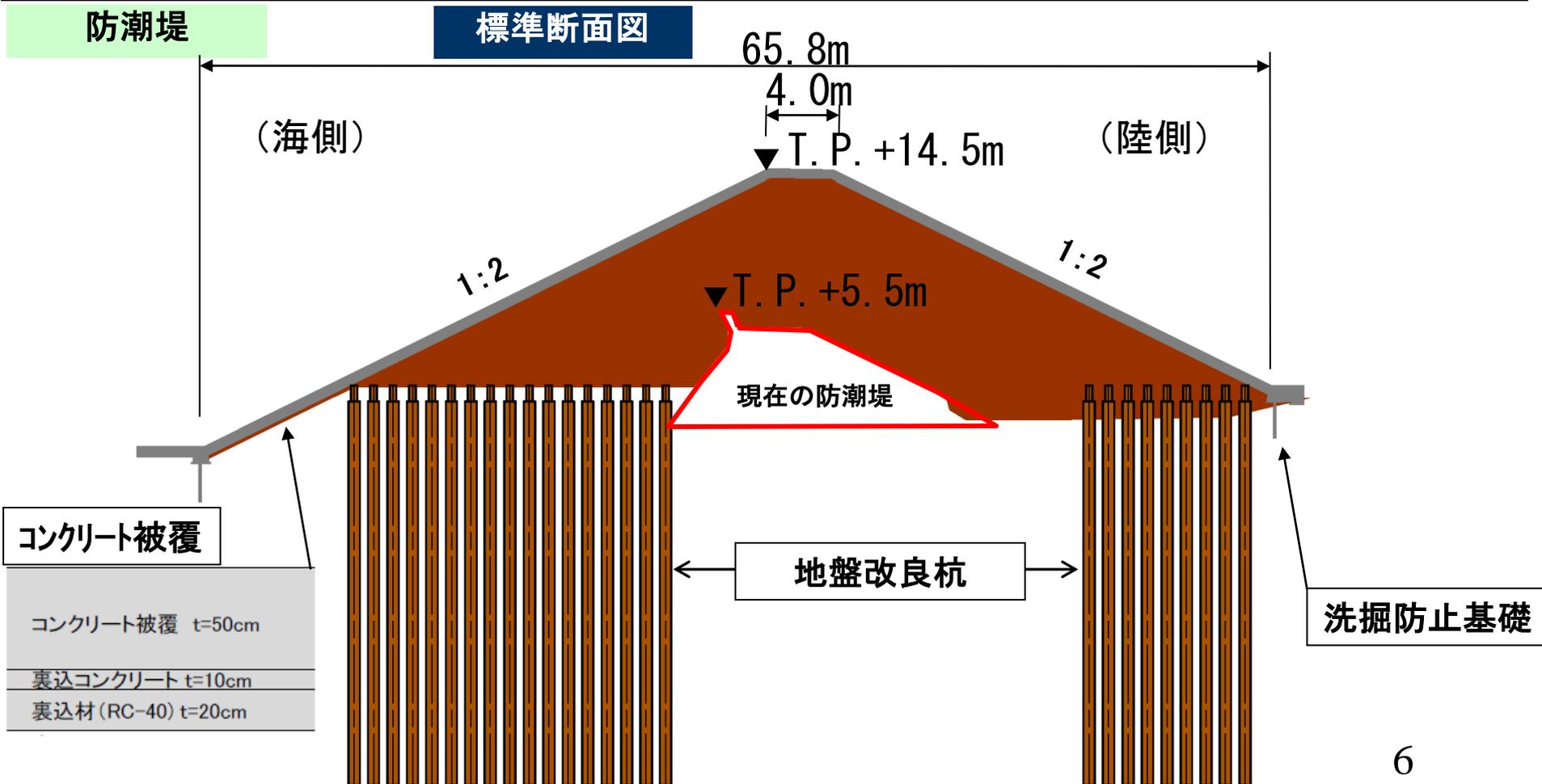
T. P. -1.70m



基礎杭

防潮堤の断面形状と構造

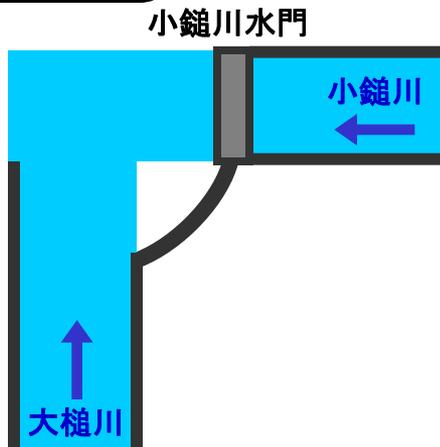
- 現在の防護ラインとほぼ同じ位置となります。
- 現在の防潮堤の高さより約9m高くなります。現在の幅の約4倍に広がります。
- 被災事例を踏まえ、堤防天端を越流した場合でも、施設の倒壊までの時間を少しでも長くする「粘り強い構造」とします。(①陸側法尻部の洗掘防止、②コンクリートによる天端保護・法被覆、③波返しは設けず天端まで盛土構造 とするなど)
- 液状化現象による倒壊を防ぐため、地盤改良対策工を実施します。



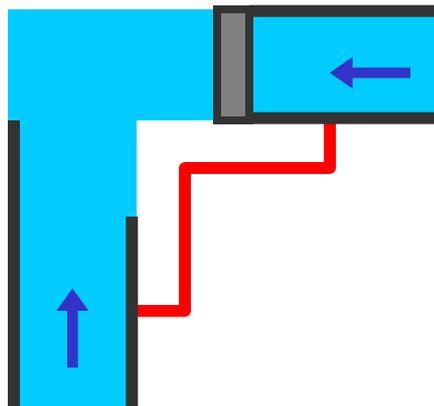
工事の施工手順について

工事の施工手順

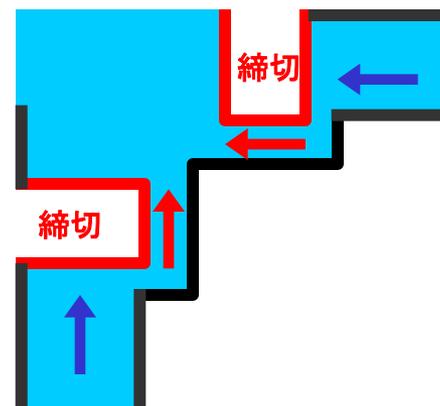
施工前



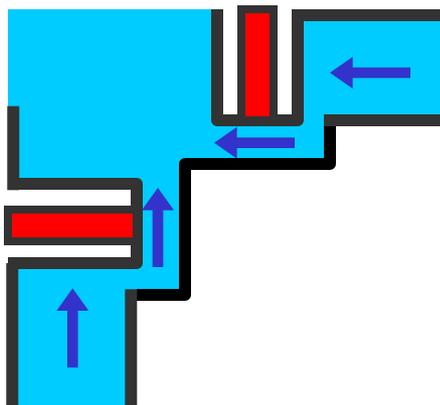
1 仮の堤防をつくります



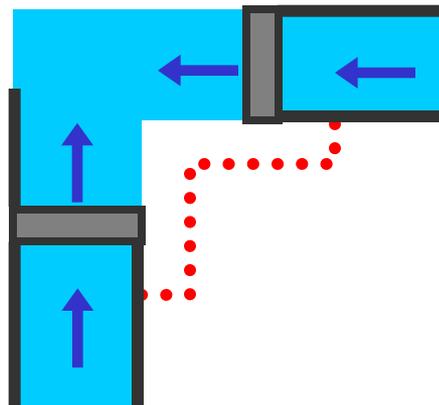
2 水路を切り替えます



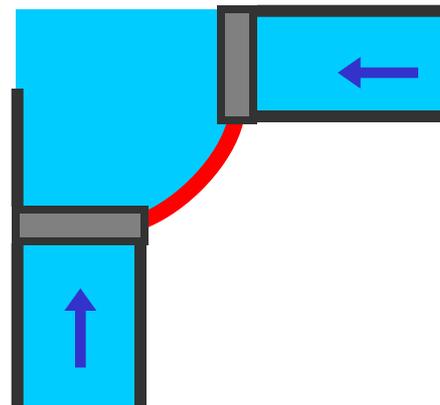
3 水門をつくります



4 仮の堤防を撤去します



5 防潮堤をつくります



今後予定スケジュール

平成26年度	仮堤防及び切替水路の施工
平成27年度	水門本体のうち基礎杭施工
平成28年度	水門本体施工
平成29年度	ゲート据付及び防潮堤施工 【防潮堤機能概成を目指す】
平成30年度	仮設道路等撤去